



[公財]日本太鼓財団

NIPPON TAIKO FOUNDATION

会報

発行・編集 2022年冬号

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-11-2 日本財団第二ビル6階

公益財団法人 日本太鼓財団 理事長 大澤 和彦

Tel.03-6205-4377 Fax.03-6205-4378

URL: <https://www.nippon-taiko.or.jp> Email: info@nippon-taiko.or.jp



公益財団法人 日本太鼓財団
理事長 大澤 和彦

新年のごあいさつ

新年あけましておめでとうございます。

会員の皆さまには、新しき良い年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

一昨年以來、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、当財団では多くの事業が中止や延期となりました。会員の皆さまも大変なご苦勞をされたことと思います。中止となった事業もありましたが、日本太鼓財団として会員の皆さまのご協力を得て、昨年は下記の事業を実施することができました。

5月に笹川保健財団の事業に協力するため、東京国際フォーラムにおいてチャリティコンサートを開催し、無観客開催でしたが、動画配信を行い、協力を求めました。募金は全額同団体にお渡しいたします。

9月には第23回日本太鼓ジュニアコンクールを、財団初となる動画審査で実施いたしました。当初予定していた岡山県での開催から動画審査に急遽変更するなど、関係者の皆さまには大変なご苦勞をおかけしましたこと、心よりお詫び申し上げます。審査の結果、宮崎県の橘太鼓「響座」ジュニアが優勝し、内閣総理大臣賞を受賞されました。

また、昨年から延期いたしました「第35回国民文化祭・みやざき2020『太鼓の祭典』」を7月に宮崎県で、

「第36回国民文化祭・わかやま2021『太鼓の祭典』」を10月に和歌山県で、それぞれ開催いたしました。和歌山県は財団の支部が未開設のため、大会運営が懸念されましたが、地元関係者と近隣支部の大阪府、奈良県、岐阜県からの応援を受けて、無事に開催することができました。この開催を足掛かりに支部の設立が進められるなど、明るい話題もありました。

11月には、第5回浅草太鼓祭を実施し、多くの皆さまにご来場いただきました。また、日本太鼓シニアコンクールを石川県にて実施し、28組が出場され、厳正なる審査の結果、大分県の長谷川義氏が2度目の名人位を獲得し、内閣総理大臣賞に輝きました。

新年1月7日には第6回大学太鼓フェスティバルを東京都で開催し、3月には第24回日本太鼓ジュニアコンクールを富山県で予定しております。このほか、日本財団からの支援を得て、演奏機会が激減した太鼓団体の事業活動に協力いたしました。

このように、コロナ禍にあっても各種事業を実施することができたのも、日本財団並びにボートレース関係者と会員の皆さま方のご協力とご支援のおかげと感謝申し上げます。新しく迎えた2022年も、財団の設立目的である日本太鼓の普及・振興を今後も図っていくため、支部・会員の皆さまとの連携を図りながら事業運営にあたりたいと考えております。

結びに、2022年が日本太鼓界と会員の皆さまにとって良い年になるようご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

2022年度主催事業予定

新年度の予定をお知らせします。新型コロナウイルスの感染拡大状況によっては、変更や中止となる可能性があります。当財団公式サイトで随時情報を掲載いたしますのでご確認ください。なお、正式な決定は3月となります。

■第22回日本太鼓全国フェスティバル

2022年4月26日（火）
国立劇場（東京都千代田区）

■第7回大学太鼓フェスティバル

2022年8月26日（金）
江戸川区総合文化センター（東京都江戸川区）

■第24回日本太鼓全国障害者大会

2022年10月23日（日）
御殿場市民会館（静岡県御殿場市）

■第6回浅草太鼓祭

2022年11月3日（木・祝）
隅田公園山谷堀広場（東京都台東区）

■美ら島おきなわ文化祭2022「太鼓の祭典」

2022年11月6日（日）
名護市民会館（沖縄県名護市）

■第19回日本太鼓シニアコンクール

2022年11月20日（日）
こまつ芸術劇場うらら（石川県小松市）

■第25回日本太鼓ジュニアコンクール

2023年3月19日（日）
金沢歌劇座（石川県金沢市）

■日本太鼓全国講習会 *併せて公認指導員更新研修会を開催

第68回 2022年 6月11・12日（土日）北海道岩見沢市
第69回 2022年10月15・16日（土日）長野県上伊那郡箕輪町
第70回 2023年 2月 長崎県大村市

第36回国民文化祭・わかやま2021

第21回全国障害者芸術・文化祭わかやま大会「太鼓の祭典」

去る10月31日（日）第36回国民文化祭・わかやま2021「太鼓の祭典」を2日前にオープンしたばかりの和歌山城ホール（和歌山県和歌山市）において満員となる1,500名のお客様を前に盛大に開催いたしました。

当財団が策定した「太鼓演奏における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」に則り、演奏時はマウスシールドまたはマスクを着用。来場者には検温と手指消毒、座席の間隔を空けるなど様々な対策を施しました。

2時間以上前から並ばれるなど、開場前から多くのお客様がお越しになり、太鼓の祭典に対する期待が伺えました。オープニングでは、地元の黒潮躍虎太鼓保存会が「大地」を演奏し、盛大な幕開けとなりました。開会式では主催者を代表して和歌山市 尾花正啓市長、当財団大澤和彦理事長、和歌山県太鼓連盟 宇治田良一会長より挨拶いたしました。地元和歌山県からの4団体を含む13府県21団体（出演者数235名）が出演し、各地の特色ある演奏が披露され、団体ごとにお客様から大きな拍手が湧きました。フィナーレは出演団体の代表者が舞台に集まり、長谷川義副会長の音頭でお客様全員と三本締めを行い、幕を閉じました。

お客様からは「久しぶりに生演奏を見ることができて良かった!」「太鼓に元気と希望をもらった」とのうれしい感想が寄せられました。

ご来場いただきました皆さま並びに関係者の方々に心より感謝申し上げます。

次回は、沖縄県名護市で2022年11月6日（日）第37回国民文化祭・おきなわ2022「太鼓の祭典」を開催いたします。

< 出演団体一覧 >

出演順21団体 ☆は会員団体

1. 黒潮躍虎太鼓保存会（和歌山）
- ☆ 2. 華音（神奈川）
3. 打吹童子ばやし（鳥取）
- ☆ 4. 天邪鬼流和太鼓麗彩（岐阜）
5. DRUM輪（和歌山）
- ☆ 6. 大治太鼓保存会（愛知）
7. 和太鼓集団和響（和歌山）
8. 福岡大学和太鼓部鼓舞猿（福岡）
9. 太鼓集団潮（大阪）
10. 和太鼓衆団高松一家（和歌山）
- ☆ 11. 鼓國雷響JAPAN（岐阜）
12. 天音太鼓保存会（和歌山）
13. 和太鼓集団打魂（広島）
- ☆ 14. 金光藤蔭高等学校和太鼓部“鼓響”（大阪）
15. 境原和太鼓クラブ（和歌山）
16. 和太鼓サスケ（石川）

ゲスト5団体

- ☆ 17. 橘太鼓「響座」ジュニア（宮崎）
- ☆ 18. 越中いさみ太鼓保存会（富山）
- ☆ 19. 名護桜太鼓（沖縄）
- ☆ 20. 尾張新次郎太鼓保存会（愛知）
- ☆ 21. 豊の国ゆふいん源流太鼓（大分）



（天邪鬼流和太鼓麗彩・岐阜）



（黒潮躍虎太鼓保存会・和歌山）



（DRUM輪・和歌山）



（華音・神奈川）



（大治太鼓保存会・愛知）



(和太鼓集団和響・和歌山)



(天音太鼓保存会・和歌山)



(和太鼓衆団高松一家・和歌山)



(金光藤蔭高等学校和太鼓部“鼓響”・大阪)



(鼓國雷響JAPAN・岐阜)



(境原和太鼓クラブ・和歌山)

*和歌山県太鼓連盟 宇治田良一会長にご寄稿いただきました。

紀の国わかやま文化祭2021 第36回国民文化祭・わかやま2021 第21回全国障害者芸術・文化祭わかやま大会「太鼓の祭典」を終えて

和歌山県太鼓連盟 会長 宇治田良一

紀の国わかやま文化祭2021が「山青し 海青し 文化は輝く」をテーマに2021年10月30日から11月21日までの23日間にわたり和歌山県下で開催されました。

「太鼓の祭典」は10月31日、紀州徳川五十五万五千石の和歌山城を前にした和歌山城ホールで全国各地からお越しいただいた15の太鼓団体の皆さま、ゲストの5団体の皆さま、オープニング演奏には荣誉にあずかりました私ども「和歌山県太鼓連盟」から黒潮躍虎太鼓保存会が出演しました。

また、ホールには開場の2時間以上前から並ばれた太鼓ファンの方もおられ、常に満員状態で出演者の士気が上がるほどの拍手をいただきました。ありがとうございました。

太鼓の魅力である「音」と「響き」の奥深さ・勇壮さを十分堪能していただけたと思います。

今回の「太鼓の祭典」はコロナ禍で演奏会や練習が十分に行えない中での開催となりましたが、このように盛大に開催できたのは、日本財団、公益財団法人 日本太鼓財団、近隣の支部の皆さま、和歌山県太鼓連盟の仲間、ボランティアスタッフの皆さまの格段のご支援、ご協力の賜物と深く感謝申し上げます。

また、ご来場いただきましたお客様には新型コロナウイルス感染防止対策にご協力いただきましたことに心よりお礼申し上げます。

今年は沖縄県で第37回国民文化祭 第22回全国障害者芸術・文化祭「美ら島おきなわ文化祭2022」が開催されますが、「太鼓の祭典」が益々すばらしい大会になることをご祈念申し上げます。

結びに、開催に向けて長期間にわたりご尽力いただきました関係各位に改めて心より感謝申し上げます。



(開会式・宇治田会長挨拶)

第5回浅草太鼓祭

11月3日（水・祝）東京・浅草「隅田公園山谷堀広場」において第5回浅草太鼓祭を開催しました。

当財団が策定した「太鼓演奏における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」に則り、演奏時はマウスシールドまたはマスクを着用。来場者には検温と手指消毒、客席の入場制限など様々な対策を施しました。

始めに東京都支部合同チームが息の合った演奏で渡辺洋一支部長作曲「櫓」を披露しました。続いて主催を代表して浅草太鼓祭実行委員会 富士滋美副実行委員長、当財団大澤和彦理事長が挨拶、来賓として株式会社宮本卯之助商店 宮本卯之助会長からご祝辞をいただきました。地元浅草からの3団体を含む5都県13団体による特色ある演奏はスカイツリーをバックに14時まで続けました。天気にも恵まれ青空の下で、コロナ対策のため入場制限をしながらも満席となる約450名のお客様が楽しめました。

ご出演、ご来場いただいた皆さまに心より感謝申し上げます。

<出演団体一覧>

出演順13団体 ☆は初出演

1. 東京都支部合同チーム（東京）
2. 和太鼓暁（東京）
3. 石浜太鼓（東京）
4. 待音連・猿若囃子（東京）
- ☆ 5. 小林太郎と浅草たいこばん（東京）
6. 倉敷天領太鼓・山部泰嗣（岡山）
7. 和太鼓友（茨城）
- ☆ 8. 野州轟一番太鼓（栃木）
- ☆ 9. USÄGI（千葉）
- ☆10. 武州粋鼓会（東京）
- ☆11. 下総之國津久太鼓（千葉）
12. 向島游神太鼓（東京）
13. 太鼓集団天邪鬼+天邪鬼保存会（東京）



（東京都支部合同チーム）



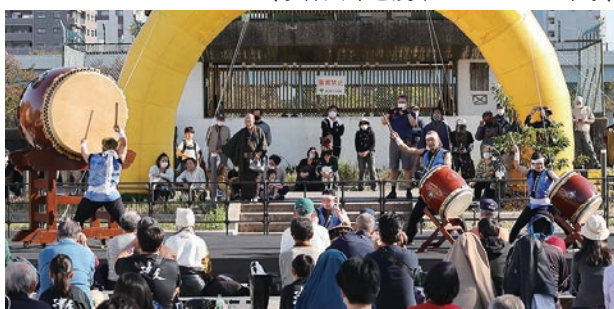
（USÄGI・千葉）



（小林太郎と浅草たいこばん・東京）



（武州粋鼓会・東京）



（野州轟一番太鼓・栃木）



（下総之國津久太鼓・千葉）

第18回日本太鼓シニアコンクール開催 長谷川義氏が2度目の栄冠に輝く!!

11月21日（日）石川県河北郡津幡町「津幡町文化会館『シグナス』」において第18回日本太鼓シニアコンクールを開催しました。この大会は、味わい深い演奏を披露するとともに、熟練した太鼓技術を後進に引継ぐことを目指しており、第3回・2006年度より文部科学大臣賞が下付され、第16回・2019年度より内閣総理大臣賞が下付されました。

当初はお客様を入れての開催を予定しておりましたが、コロナ禍によるお客様の安全を考慮し、無観客で実施いたしました。

今大会は16都府県から28組80名が参加しました。栄えある名人位となり内閣総理大臣賞を手にしたのは長谷川義氏（豊の国ゆふいん源流太鼓・大分・70歳）。2011年に続き、2度目となる優勝に輝きました。



（表彰式）

<受賞一覧>（敬称略）

名人位（内閣総理大臣賞）

長谷川義（豊の国ゆふいん源流太鼓・大分）

準名人（文部科学大臣賞）

讃岐の鼓響（香川）

第3位

山内強嗣（富岳太鼓・静岡）

特別賞

増田勝明（向島游神太鼓・東京）

村田謙二（加賀の太鼓「無限」・石川）

若山雷門（日本太鼓集団 鼓國雷響プロジェクト・岐阜）

河合光夫（越前のら打ち衆鼓友会・岐阜）

久保史朗（能登雨乞い太鼓・石川）

大江正明（住吉神社御神事太鼓保存会・石川）

飛龍源一郎（飛龍太鼓・埼玉）

中川良治（七尾豊年太鼓保存会・石川）

審査委員（敬称略・五十音順）

一川明宏（津軽三味線明宏会主宰）

大澤和彦（財団理事長）＊審査委員長

高野右吉（高野右吉と秩父社中代表）

中野俊一（（公財）石川県音楽文化振興事業団専務理事）

西本東介（北國新聞社事業局長）

山田正俊（（一社）日本マチングバント協会公認指導員）

＊長谷川義名人にご寄稿いただきました。

名人位を獲得して

豊の国ゆふいん源流太鼓 長谷川義

日本太鼓財団主催の第18回日本太鼓シニアコンクールが2年ぶりに開催されました。

10年前、60歳の時に初めて出場し、文部科学大臣賞の授賞と名人位をいただけたことは、「還暦」という自分の人生の大きな節目に最高の栄誉を受けることができました。

あれから早10年、70歳「古希」という節目の年となり再びチャレンジを決意しました。当然、歳を重ねれば体力や気力といった面では下降線をたどるのが一般的ですが、この10年間という年月の中で、どれだけ成長できたのか、進化したのかを自身に問いかけてきました。半面、体力的にも精神的にも衰えているのではないかといった恐怖と現実、そんなことは無いと認めたくない自分がいて、それを自身で確認し証明したい。そういった強い想いと同年代の人たちを元気づけたいと当日の舞台に立たせていただきました。

私は、「和太鼓には生き様が出る」が信条です。夢や希望にあふれる未来になるよう願いを込めて創作した曲「希望」を背中では70年の生きざまを表現できるよう心掛け、観る者の気持ちを揺り動かし、魂のこもった太鼓の響きが皆さまに伝わるよう、必死で打ち込みました。

その結果、再び名人位と内閣総理大臣賞を授賞し、最高の結果を残すことができました。プレッシャーもありましたが今は達成感でいっぱいです。同じ舞台に立った全国の友人、そしてこれまで自分を支えてくださった多くの方々に対し、心から感謝申し上げます。

今後はこの経験を生かし、後継者育成、日本太鼓財団発展のため、更なる精進を積み重ね頑張っていく覚悟でございます。

結びに、コロナ禍で、本大会の開催にあたり万全の態勢で運営に当たられました日本太鼓財団の皆さま、ほか関係者の皆さまに深く御礼申し上げますとともに、今後も本大会が、益々の発展を遂げられますことをお祈り申し上げます。

10年後は、80歳「傘寿」です。3度目の出場があるか…も。



（名人位 長谷川義・大分）



(準名人 讃岐の鼓響・香川)



(第3位 山内強嗣・静岡)

<出場団体一覧>

出場順28組

- | | |
|----------------------------|---------------------------------|
| 1. 荏原流れ太鼓ひびき会 (東京) | 15. 若山雷門 (日本太鼓集団 鼓國雷響プロジェクト・岐阜) |
| 2. 邦楽アカデミー 大元組 いぶし (東京) | 16. 宮井昭雄 (太鼓集団 老龍・石川) |
| 3. 秦野観光和太鼓 (神奈川) | 17. 村田謙二 (加賀の太鼓「無限」・石川) |
| 4. 讃岐の鼓響 (香川) | 18. 久保史朗 (能登雨乞い太鼓・石川) |
| 5. 小松大太鼓 環海 (石川) | 19. 若泉恵子 (越前権兵衛太鼓・福井) |
| 6. 増田律行 (藤枝太鼓・静岡) | 20. 増田勝明 (向島游神太鼓・東京) |
| 7. 小幡潔 (荏原流れ太鼓ひびき会・東京) | 21. 森田利昭 (加賀さくら太鼓・石川) |
| 8. 飛龍源一郎 (飛龍太鼓・埼玉) | 22. 中川良治 (七尾豊年太鼓保存会・石川) |
| 9. 山内強嗣 (富岳太鼓・静岡) | 23. 得能力知 (銚子太鼓保存会・石川) |
| 10. 大江正明 (住吉神社御神事太鼓保存会・石川) | 24. 松井秀明 (邦楽アカデミー・東京) |
| 11. 吉田宗廣 (荏原流れ太鼓ひびき会・東京) | 25. 立石健秀 (助六太鼓保存会・東京) |
| 12. 中山英代 (小松大太鼓 環海・石川) | 26. 西岡知則 (大和の響き・京・京都) |
| 13. 長谷川義 (豊の国ゆふいん源流太鼓・大分) | 27. 修行兼一郎 (天孫降臨霧島九面太鼓保存会・鹿児島) |
| 14. 青木正行 (ぎふ愛鼓会・岐阜) | 28. 河合光夫 (越前のら打ち衆鼓友会・岐阜) |

第10回東北太鼓ジュニアコンクール

11月28日(日) 宮城県大崎市「田尻文化センター」

東北太鼓連合主催、東北5県より10団体が参加し、無観客の中、無事に終了いたしました。

優勝 高倉薬太鼓 (宮城)

準優勝 會津田島太鼓「狐ノ刃」(福島)

第3位 やまばと太鼓 (秋田)

日本太鼓財団賞 岩手県立宮古水産高等学校太鼓部 (岩手)

支部予選で全国大会出場権を得ていない団体の中から最上位の団体が全国大会出場権を得ます。当財団技術委員を含めた審査委員会の協議により、予選で全国大会の出場権を得ていない団体の最上位団体であった「岩手県立宮古水産高等学校太鼓部」(岩手)が全国大会に推薦されることとなりました。



(優勝：高倉薬太鼓)

第16回全九州・日本太鼓ジュニアコンクール

12月19日(日) 福岡県飯塚市「飯塚市文化会館」

全九州太鼓連合主催、九州7県より30団体が参加し、盛況裡に終了いたしました。

優勝 三代目源流 (大分)

準優勝 和太鼓たぎり (福岡)

第3位 太鼓研修センター「響」(宮崎)

日本太鼓財団賞 由布はさま太鼓 (大分)

支部予選で全国大会出場権を得ていない団体の中から最上位の団体が全国大会出場権を得ます。当財団技術委員を含めた審査委員会の協議により、予選で全国大会の出場権を得ていない団体の最上位団体であった「太鼓研修センター『響』」(宮崎)が全国大会に推薦されることとなりました。



(優勝：三代目源流)

太鼓演奏会の開催事業 実施一覧

第2回コロナに打ち勝て信州の太鼓

期日：2021年10月31日（日） 長野県
会場：上伊那郡辰野町 グリーンレゾ横川かやぶきの館
小県郡青木村 ふるさと公園あおき
北安曇郡松川村 道の駅・安曇野松川寄って停まつかわ
主催：日本太鼓財団、日本太鼓財団長野県支部
出演：13団体



みやぎ太鼓フェスティバル in 登米

期日：2021年11月7日（日） 宮城県登米市
会場：豊里公民館
主催：日本太鼓財団、日本太鼓財団宮城県支部
出演：13団体



山形県太鼓フェスティバル2021

期日：2021年11月23日（火・祝）山形県東田川郡庄内町
会場：庄内町文化創造館「響ホール」
主催：日本太鼓財団、日本太鼓財団山形県支部
出演：7団体



開催予定一覧

■Tokyo Taiko Gathering

2022年1月16日（日）
東京都台東区

■日本太鼓財団

長崎県支部和太鼓フェスティバル2022
2022年1月16日（日）
長崎県諫早市

■令和4年静岡和太鼓まつり

2022年1月30日（日）
静岡県御殿場市

■MIYAZAKI SOUND

2022年1月30日（日）
宮城県西都市

■栃木県和太鼓フェスティバル

2022年2月6日（日）
栃木県宇都宮市

■太鼓AID 一太坂冬の陣2022ー

2022年2月6日（日）
大阪府大阪市

■彩の国 太鼓祭り2022

2022年3月6日（日）
埼玉県羽生市

■第1回茨城どまんなか太鼓まつり

2022年3月27日（日）
茨城県小美玉市

■鶴岡太鼓フェスティバル2022

2022年3月20日（日）
山形県鶴岡市

World Taiko Conference Presents 「Taiko Celebration 2021 ～太鼓の祝祭～」

11月6日（土）大分県大分市「J:COMホルトホール大分」

ワールド太鼓カンファレンス実行委員会主催により開催され、当財団が後援として協力しました。豊の国ゆふいん源流太鼓（大分）をはじめとする太鼓団体3団体が出演し、コンサートを盛り上げました。

文化芸術の花 咲いわり 美ら島おきなわ文化祭2022

第37回国民文化祭、第22回全国障害者芸術・文化祭「太鼓の祭典」出演団体募集中！

2022年11月6日（日）沖縄県名護市「名護市民会館」にて開催する第37回国民文化祭・おきなわ2022「太鼓の祭典」の出演団体を募集中です。詳細は当財団公式サイトからご覧ください。

皆さまのご応募をお待ちしております。

* 新型コロナウイルスの感染拡大状況によっては、変更や中止となる可能性があります。

当財団公式サイトで随時情報を掲載いたしますのでご確認ください。

第24回日本太鼓ジュニアコンクール

期日:2022年3月20日 (日)

会場:オーバード・ホール

〒930-0858 富山県富山市牛島町9-28 Tel: 076-445-5620

主催:公益財団法人 日本太鼓財団 主管:中日本太鼓連合、日本太鼓財団富山県支部

入場料:前売券2,000円 当日券2,500円

チケットぴあにて2月14日10時より販売開始!

詳細は決定次第、当財団公式サイトに掲載いたします。



***今回もYouTubeにより生配信いたします!**

会場にお越しになれない方は、右記QRコードよりご覧いただけます。

出場予定:41団体【36都道府県】

出場団体及び出場順番は2022年1月14日(金)に開催の運営・技術合同委員会にて決定いたします。

予選実施:25支部256団体2,319名 支部推薦:12団体 支部未開設県:1団体

道西:赤平火太鼓保存会

道南:厚真郷芸保存会

道北:富良野彌榮太鼓保存会

岩手:岩手県立大船渡東高等学校 太鼓部

宮城:高倉夔太鼓

秋田:やまばと太鼓

山形:太鼓道場風の会ジュニア「雷神組」

福島:會津田島太鼓「狐ノ刃」

栃木:岩舟武蔵太鼓Jr

群馬:上州あずま太鼓会

埼玉:駒王太鼓 嵐

千葉:和太鼓 風

東京:東京都立美原高等学校和太鼓部「和心響華」

神奈川:SEISA打鼓音

静岡:天城連峰太鼓

新潟:新潟万代太鼓 江南青龍会

富山:越中いさみ太鼓保存会 春蘭

源多良太鼓保存会「心(shin)」

石川:輪島和太鼓虎之介

福井:ハッ杉太鼓 遊心

長野:信濃国松川響岳太鼓子供会

岐阜:上石津もんでこ太鼓保存会「結」

愛知:尾張新次郎太鼓保存会

三重:青山高等学校 和太鼓部 葵

京都:大和の響き・京

大阪:金光藤蔭高等学校 和太鼓部「鼓響」

兵庫:養父太鼓 鼓彩

岡山:2022年1月9日(日) 予選開催

広島:広島山陽学園 山陽高等学校

和太鼓部 山陽太鼓「弾」

島根:掛合太鼓ジュニア

高知:明德義塾中学・高等学校 太鼓衆魅鼓

香川:和太鼓集団響屋ジュニア

福岡:和太鼓たぎり

佐賀:和太鼓「葉隠」

長崎:おおむら太鼓連 くじら太鼓

熊本:熊本市立必由館高等学校 和太鼓部

大分:三代目源流

宮崎:舞鶴一座 秋月鼓童

鹿児島:志布志ちりめん太鼓

東北:岩手県立宮古水産高等学校太鼓部

九州:太鼓研修センター「響」

特別出演:橘太鼓「響座」ジュニア(宮崎・第23回日本太鼓ジュニアコンクール優勝団体)

***東北大会の結果から「岩手県立宮古水産高等学校太鼓部」(岩手)、九州大会の結果から「太鼓研修センター『響』」(宮崎)が、推薦されました。**

*新型コロナウイルスの感染拡大状況によっては、変更や中止となる可能性があります。
当財団公式サイトで随時情報を掲載いたしますのでご確認ください。



公益財団法人 日本太鼓財団

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-11-2

Tel. 03-6205-4377 Fax. 03-6205-4378

URL: <https://www.nippon-taiko.or.jp>

日本財団第二ビル6階

Email: info@nippon-taiko.or.jp

